

有限責任中間法人 日本国際健康気圧協会との懇談

日時：平成17年11月8日（火）

1710－1820

場所：東京御茶ノ水 山の上ホテル

出席者：日本国際健康気圧協会

専務理事 若汐 豊

理事 馬場四郎

顧問 西井易穂

日本ライトサービス（株）

顧問 周 慶仁

日本臨床高気圧酸素・潜水医学会

理事 大岩弘典

理事 毛利元彦

この会談では、国際健康気圧協会側は、主に顧問の西井易穂氏が発言・対応・説明を行った。

主なる点について

1. 気圧協会としても1.3 atm への加圧は、空気で行うことと明示しているが、酸素を使用しているところもあることは認識している。これらのところには改善するようにと警告はしているとの事。
2. 提供を受けた気圧協会のテキストに、厚生労働省関連での記載の中に1.3 atm 使用のヘルスケアチャンバー（HCC）の記載もあるが、現時点では健康保険の適応がないことを指摘した。この件では訂正するとの返事をいただいた。
3. 第3回総会（札幌）で mild HBO についてのシンポジウムを第3回総会会長の浅井先生が企画されていることを協会の方々にお話をしました。このシンポジウムの演者については、浅井会長と八木代表理事に相談させていただきたいと返答した、詳細については、毛利から協会宛に連絡することで了解された。
4. 下記の資料をいただきました
 - a) 協会誌 Summer 号
 - b) 日本国際高気圧協会ご案内
 - c) ヘルスケアチャンバー（HCC）オペレータ及び普及・指導員資格認定用研修テキスト
 - d) 榊原欣作先生宛、顧問西井易穂よりの質問事項などの封書1通

（八木代表理事・大岩理事 了解済み）

文責 毛利 元彦